

平成 24 年 2 月 1 日

## 弊社におけるヒラメ寄生クドアの現状について

弊社では昨年 5 月より、ヒラメ種苗について食中毒の原因となる *Kudoa septempunctata* の PCR 検査を実施しております。また、種苗として出荷するロットについては愛媛県の検査を受けるとともに、東京大学にも積極的にサンプルを提供し、種苗の安全性の確保および研究の進展に協力してまいりました。

昨年 9 月以降に出荷したロットについては、愛媛県、東京大学、そして弊社の 3 機関で検査を実施し、1 ロットあたり合計 180 尾と愛媛県の定めるガイドラインの 3 倍量の検体数について検査を行っておりますが、現在までに陽性反応は出ておりません。また、生産した種苗を毎月サンプリングし、クドアによる食中毒が頻発する夏期を含む 4 ヶ月間に渡りモニタリングいたしましたが、どの月も *Kudoa septempunctata* は陰性となっております。

今後ともお客様に安心して種苗をご購入頂けますように、引き続き PCR 検査を継続していくとともに、最新情報の収集に努めて参ります。今後ともお引き立ての程をよろしく申し上げます。

有限会社まる阿水産  
代表取締役社長 松浦昭典